

令和 3 年度 学校評価 自己評価 (3 学期)

4 : 十分満足できる 3 : 満足できる 2 : やや不十分 1 : 不十分

領域	No.	評価の観点	評価		
			1 学期	2 学期	3 学期
教育目標	1	学校教育目標を念頭に置き、その具現化に努めたか。	2.7	3.0	3.0
	2	めざす教師像の具現化に努め、使命感をもって日々前進できたか。	3.0	3.0	3.1
	3	めざす生徒像の具現化に努め、課題解決に向けて前進できたか。	2.8	2.9	2.7
	4	「朝のボランティア活動」の実践に、生徒と共に努めることができたか。	2.7	2.8	2.5
	5	一学校一改革の「整える」を生徒に浸透させ、その実現に向かわせることができたか。	3.0	3.1	2.9
心の教育	6	個々の生徒と向き合い、個々の「よさ」の伸長を図れたか。	2.9	3.1	3.0
	7	計画的・継続的に「道徳」の授業や道徳教育を推進できたか。	2.5	2.3	2.8
	8	学級目標を生徒に浸透させ、その実現に向かわせることができたか。	2.6	2.3	2.8
	9	礼節あるあいさつ・言葉遣いや、基本的生活習慣の指導に努めたか。	2.9	2.7	2.9
確かな学力	10	授業において、基礎学力の定着及び学力向上の為の指導法改善に努めたか。	2.9	2.6	3.1
	11	テストや諸検査等を分析し、生徒の実態に即した指導ができたか。	2.8	2.8	3.0
	12	学年全体や個々の学力を、確実に向上させることができたか。	2.3	2.2	2.4
	13	I C T機器を活用した指導法改善に努めることができたか。	2.9	2.6	2.9
	14	家庭学習の充実及び90・120運動の定着のために、具体的な手立てを行うことができたか。	2.1	2.1	2.3
体力向上 保健安全 健康教育	15	進んで運動に親しみ、心身の健康維持・向上を目指す態度を育成できたか。	2.9	2.7	2.4
	16	日頃の安全点検や安全指導を通して、生徒の意識の喚起を図れたか。	3.0	3.0	3.0
	17	保健指導等を通して、自己の健康管理や食への意識の喚起を図れたか。	2.6	2.7	2.9
	18	P T A活動を通して、保護者や関係機関と連携して保健指導に努めたか。	2.6	2.7	2.5
	19	生命尊重、性に関する教育を計画的に推進できたか。	2.5	2.4	2.7
進路指導	20	学年に応じた進路指導を推進し、生徒に将来の展望を持たせることができたか。	2.9	2.5	3.1
	21	進路学習や体験活動を通して、健全な職業観・勤労観の育成に努めたか。	2.9	2.4	2.9
	22	個々の生徒の適性や個性を伸長して、夢や目標を具体的に持たせるよう努めたか。	2.7	2.8	3.1
生徒指導	23	いじめや悩みの発見に努め、教師間連携に基づく早期対応ができたか。	3.2	3.0	2.9
	24	望ましい姿を示唆しつつ、生徒の心に届く指導や支援ができたか。	2.8	2.8	2.6
	25	問題行動等には、共通理解・共通実践をもとに組織的に対応できたか。	2.9	2.9	2.7
	26	保護者や関係機関と連携して、全体で取り組む体制づくりができたか。	2.7	2.9	2.6
人権教育	27	偏見や差別のない学級・学校づくりに向けて、日々啓発に努めたか。	3.0	3.0	3.1
	28	生命や人権の尊さを啓発し、他を思いやる言動の指導に努めたか。	3.1	3.1	3.0
情報教育	29	自らの情報活用力の向上を図りつつ、I C T教育の充実に努めたか。	2.6	2.4	2.9
	30	情報社会における情報の怖さやモラルの大切さを指導できたか。	2.5	2.8	2.9
環境教育	31	校内の緑化・清掃活動に取り組み、花と緑の美しい学校づくりに努めたか。	2.5	2.7	2.5
	32	校内掲示の刷新や充実を図り、適切な情報提供に努めたか。	2.8	2.6	2.5
	33	学校I S Oに取り組み、環境に優しい学校づくりに努めたか。	2.7	2.7	2.8
	34	朝のボランティア活動を中心として、ボランティア精神の育成や活動の推進に努めたか。	2.5	2.8	2.6
	35	授業を通じた実践研究に取り組み、指導法改善や指導力向上に努めたか。	3.0	2.9	2.9

研修	36	校内研修の充実を図るために、積極的な意見交換や内容改善に努めたか。	2.8	2.8	2.8
	37	校外研修の成果を積極的に活用して、本校の教育活動の前進に努めたか。	2.7	3.0	2.9
小中連携	38	小・中連携を深め、義務教育9年間を見通した教育の推進に努めたか。	3.0	2.9	3.0
	39	教職員の共通実践事項の具現化に向けて、実践の成果の検証に努めたか。	2.7	2.7	2.6
	40	小・中PTA共通実践事項の具現化に向けて、啓発や検証に努めたか。	2.8	2.7	2.7
服務	41	教育公務員として服務規律の厳正確保に努め、使命感の高揚と研鑽に努めたか。	3.6	3.3	3.4
	42	自己管理に努めつつ、日々楽しく職責を全うすることができたか。	3.0	3.0	3.0
	43	業務改革の意識を持って校務に当たることができたか。	2.9	2.8	2.8

来年度へ向けての改善策等

- (1) 学力の向上（家庭学習における意識の向上および学習時間の確保）
- (2) 学力の個人差が大きい集団の指導（個と全体のバランス）→支援のあり方の研修を深める。情報の共有・交換。
- (3) ICT機器のスキルアップ→情報収集・交換、研修への参加。
- (4) 授業において「考えさせる場」「話し合わせる場」「自分の言葉で発表させる場」を設定する。
- (5) 言語活動の充実を図り「書く力」を高めるための取組をする。
